



Make Dreams Real 夢をかたちに

地区テーマ 楽しいロータリーで、仲間を増やそう

本クラブテーマ 実践と充実感

国際ロータリー2800地区 鶴岡ロータリークラブ

第2438回(本年度第25回)例会 2009.1.13

●例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)

●例会場/東京第一ホテル鶴岡
鶴岡市錦町2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

会長報告

樋渡 美智子

◆たくましく生きる

1月は、ロータリー理解推進月間。これについては、計画もあるとおもいますので、私は、今まで関わった教え子のなかから、幾人かを話題にしていきたい。

さて、私への年賀状の多くは、かつての職業柄、子どもと先生方からのものです。そのなかには、初めて先生になった47年前の教え子もありますが、1年に1回、子どもたちの近況を知り、なつかしく思い出すきっかけにもなっております。

そのなかで、折りにふれて連絡をくれるA君。彼の人生は、私の知るなかでは、自らの人生をいきる逞しさを感じています。

中学校時代、彼の部屋の天井からは手作りの飛行機が所狭しと下がり、机の上は、プラモデルであふれて勉強するスペースはありませんでした。

将来は、航空関係の仕事をしたいと、当時は、珍しい県外の航空学校を受験。卒業後寿司屋で働いていることを聞く。目が悪く航空関係は無理だったという。ならば、日本食ブームの外国。技を身につけて、その後外国では一番住みやすいというカナダに行く。

寿司屋で馴染みになった客と意気投合。興味のあったコンピュータ会社に就職。カナダ大使館にも関わるようになる。

ある日、テレビで放映されたロボコンテストでインタビューに映った彼の姿をみる。

そして、日本の財団法人の支援を受け、ロボット開発。東大卒などのチームメンバーのリーダーと

なって、介護ロボットを2台開発したという。そして現在独立。

さて、小学校6年の子で将来なりたい職業があった子は、全体の7割。しかし、大きくなって実際、その職業についたのは、1割にも満たないという。

つまり、10人に7人は「大きくなったら、〇〇になりたい」と思っているが、その通りになれる人は、ひとりいるかどうかということです。

ところが、これには、新鮮な驚きがあった。それは、子どもの時代になりたい職業があった人の方が、なかった人よりも「やりがいのある仕事についている」というデータがあるという。

つまり、希望をもっていたという事実が、人生に有益な結果をもたらすのです。

幹事報告

越智 茂昭

◎ガバナーエレクト事務所より

次期地区インターアクト委員会委員の推薦依頼

◎天神祭り実行委員会

1/20 本間厚君出席

◎加藤功君、脳梗塞で入院。状況によってはお見舞いの面会にお応えできない場合がある。

年男スピーチ

わたしの今昔物語

富 樫 松 夫



わたしは、鶴岡で生まれ、今までの大半を鶴岡に育てて貰いました。住めば都といいますが、鶴岡は住んでは、四方を海、山に囲まれ、おいしいお米の出来る庄内平野があり、自然災害も少

1月は… ロータリー理解推進月間

出席報告

会員数	46名
出席	27名
出席率	62.79%
前々回確定出席率	65.11%

RI会長 李 東 建 ■地区ガバナー 武田和夫
■会長/樋渡美智子 ■副会長/佐藤孝子 ■幹事/越智茂昭
■会報委員会/松井 亨・北川米三

事務局:鶴岡市馬場町11-63鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376 E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp



創立50周年式典
2009年4月18日



富田喜美子君 夫が 1/12 プラスワンのテニスダブルス (B クラス) 大会で優勝しました。よく走り、よく打っていました。